2014年6月号「vol.48」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

神奈川県立博物館に行って楽しく学ぼう
横浜で歴史と文化、小田原で地球と生命

絵画「モナ・リザ」などで知られるレオナルド・ダ・ヴィンチは美術以外にも科学、解剖学、植物学などさまざまな分野で顕著な業績を残した「万能人」ですが、多分野への探究心や独創性は少年のころ家の周辺でたっぷり自然に触れたことで培われたと言われています。これらの能力は人生にとって極めて大切な宝物です。これを磨くきっかけとなる施設として、神奈川県内には県立歴史博物館と県立生命の星・地球博物館があります。夏休みに親子で楽しみ〝自分の世界〟をぐんと広げてみるのはどうでしょう―。

神奈川県を代表する2つの博物館のルーツは、現在の歴史博物館の所に1967年3月に開館した神奈川県立博物館です。1904年に完成した旧横浜正金銀行本店の建物と用地を県が買収したもので、建物はネオ・バロック様式のもの。往時を感じさせる歴史的建造物として国の重要文化財と史跡指定を受けています。1995年には小田原市内に自然科学分野の施設を新設し、横浜の歴史博物館と小田原の生命の星・地球博物館の2館体制に拡充しました。

歴史博物館

【歴史博物館】テーマは神奈川の文化と歴史。「都市鎌倉と中世びと」「横浜開港と近代化」などの5つのコーナーがあります。有名な真葛焼の陶芸品など約5万3千点の資料を所持。特別展として世界文化遺産への登録を勧告された群馬県の富岡製糸場に関する資料を展示した「繭と鋼～神奈川とフランスの交流史～」展を開催中（6月22日まで）。7月19日～9月28日には「よみがえる東京オリンピック」展が開かれます。

横浜市中区南仲通5-60　電話045-201-0926

【生命の星・地球博物館】46億年にわたる地球、そして生命の営みの神秘性と歴史を実物資料を中心に分かりやすく展示しています。「神奈川の自然を考える」コーナーもあります。実物標本は体長数ミリの昆虫から巨大な恐竜まで約1万点。化石など展示品に触れることが出来、化石を手入れしているなど学芸員の仕事の様子も見学出来ます。

小田原市入生田499　電話0465-21-1515

生命の星・地球博物館

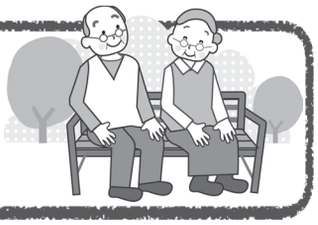
博物館では「火山の仕組み」など出前講座を行っています

コレが言いたい！

生命の星・地球博物館・歴史博物館は箱根やみなとみらい・中華街などの観光地にも近く、県内だけではなく県外からの入館者も期待出来ます。特に生命の星・地球博物館は地球活動を基に生物の多様性を示した展示は、他館には見られない内容であり、海外の観光客からの評価も高いので今後も県内外・国外へ積極的にPRしていくべきです。

今月のひと言

県内の認知症行方不明者は今年に入って87名（平成26年4月末現在）、その内未発見は2名となっています。認知症行方不明者を減らすためには地域の連携や介護する家族の負担を減らす仕組みづくりが必要です。



磯子 あれ？これ？

宮越記念『久良岐能舞台』

久良岐能舞台は久良岐公園の一角に位置しています。この前身は昭和5（1930）年ごろ、野毛山の林光寺の住職が隠居所を建てるため県内に適地を探していたところ、笹堀は地勢が良いとのことでここに禅寺を建て妻と住んだことに始まります。禅師亡き後、周囲が都市化されてきたことを心配し、遺族がこの風景を残したいとの思いから外国航路船長で能楽愛好者の宮越賢治氏へ敷地建物を譲渡しました。能舞台の由来は、大正6（1917）年、能楽会関係者により囃方育成のため東京日比谷に建てられたものを移築したものです。舞台の鏡板は日本画壇の大家である平福 百穂（ひらふく ひゃくすい）の全盛期に描かれたもので、文化財的価値の高い名作です。

現在は能や狂言の他、日本舞踊や琴・三味線・詩吟、民謡の稽古や発表会、茶会や俳句の会での施設利用や庭園内での写真撮影等も行われ、幅広い活用がされています。

敷地内は、三方を山に囲まれており、梅や桜・竹・楓など四季折々の草木に囲まれマイナスイオンたっぷりの散策も楽しめ、ちょっとした都会のオアシスです。緑深くなるこの時期足を延ばしてみませんか？

活動報告

5月15日より7月8日までの55日間、平成26年第二回定例会が開催されています。今定例会では今年度の常任委員会が決定しました。昨年に引き続き保健衛生、社会福祉、社会保障などを審査する『厚生常任委員会』の所属となりました。

県内の女性党員や女性議員による活動

5月5日のこどもの日には毎年女性党員による「児童虐待防止キャンペーン」を 横浜駅で行っています。また、女性議員による勉強会も毎月行っています。5月は先月に続き子宮頸がん予防ワクチンについて、医師と意見交換を行いました。

児童虐待防止キャンペーン

女性議員による勉強会

あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成23年4月　県議会議員初当選
- ●厚生常任委員

✉あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451